

21) 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

目的: 快適で便利な賑わいのあるまちに住むことができるようにする

指標: 快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合

① 目的

首都圏の近郊都市として発展してきた本市にとっては、都市基盤の強化や商工業の維持発展により快適性や利便性を向上させることや地域の独自性を高め、観光や就労・就学の交流人口を増やすことが重要であると考えます。

② 指標

都市機能の強化は、快適性や利便性の向上となり、産業の振興と雇用の確保、観光資源の活用や商圈の拡大等による交流人口の増加は賑わいをもたらすものです。そこで、都市機能の強化により快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合を増加させることを目指します。

③ 設問

この指標は、「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」を組み合わせ聞いている。「地域・態度（評価）」

「まちの賑わいや買い物の便」「通勤、通学などの交通の便」「道路、公園、下水道などの都市施設」「特色ある祭りや地域ぐるみのイベント」の4項目

あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてそれぞれどの程度満足していますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|--------------|---------|
| 1 十分満足している | 2 まあまあ満足している | 3 普通である |
| 4 やや不満である | 5 きわめて不満である | 6 わからない |

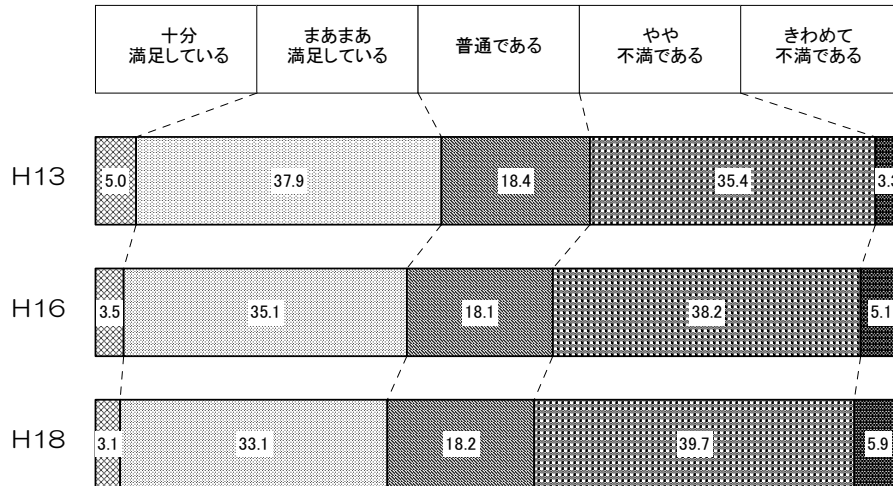
④ 指標の現状（値）

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度（目標値）
十分満足している	5.0%	3.5%	3.1%	
まあまあ満足している	37.9%	35.1%	33.1%	
計	42.9%	38.6%	36.2%	45.0%

⑤ 指標の分析

◆ 快適・便利・賑わいの満足度は僅かに減少、多様化・高度化する住民ニーズへの対応も課題

日ごろ生活する中で、快適・便利・賑わいについて満足している人の割合は、前回から僅かに減少しており、平成19年度目標値には8.8ポイントの開きがある。生活の利便性や都市としての活力に関する指標については、住民ニーズの多様化・高度化を背景として、満足度の向上につながらない様子がうかがえる。



注) 快適・便利・賑わいの4項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出している。
 ・ Q17 イ、ウ、キ、ソの4つの質問の選択肢に表1の評価点をそれぞれ与える。
 ・ 4つの質問の評価点の合計点を表2にしたがい分布をとる。

表1

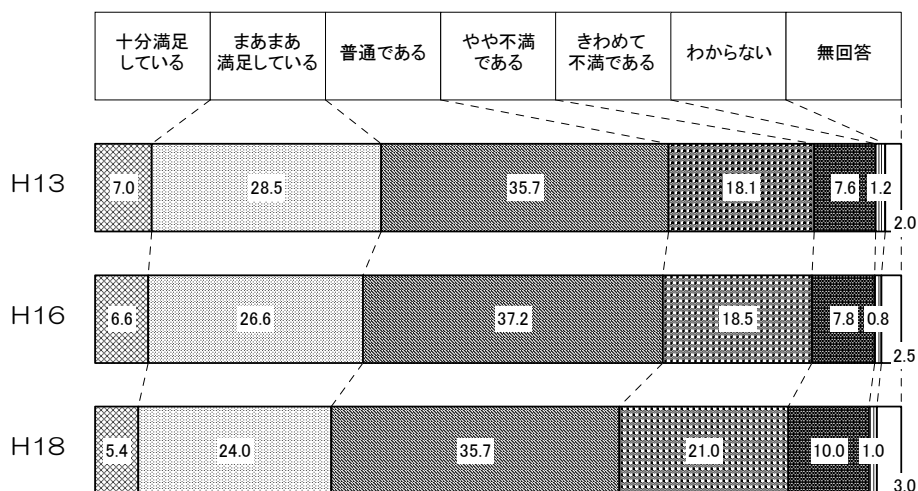
①「十分満足」	+2
②「まあまあ満足」	+1
③「普通」	0
④「やや不満」	-1
⑤「きわめて不満」	-2

表2

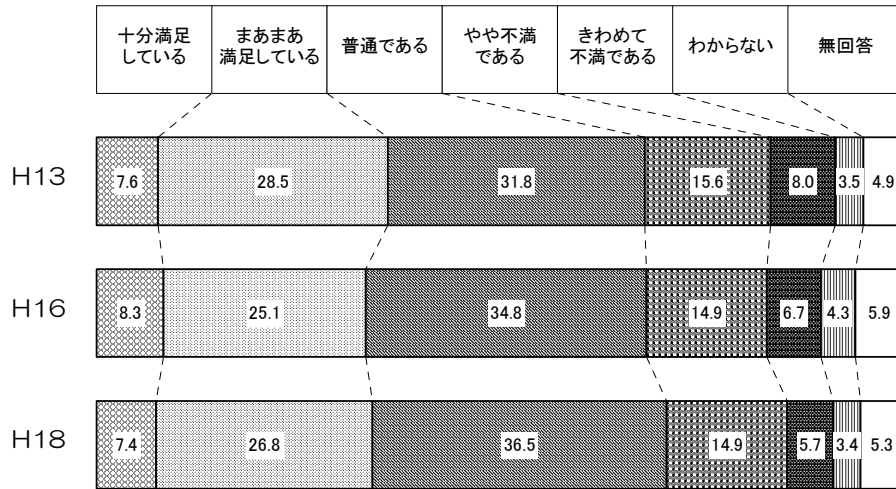
- ① 5点以上（十分満足している）
- ② 1～4点（まあまあ満足している）
- ③ 0点（普通である）
- ④ -1～-4点（やや不満である）
- ⑤ -5点以下（きわめて不満である）

「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」に関する各項目ごとにもみると、「十分満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度の比較的高い項目としては交通の便があげられ、反対に不満の大きいものは買い物の便と都市施設があがっている。

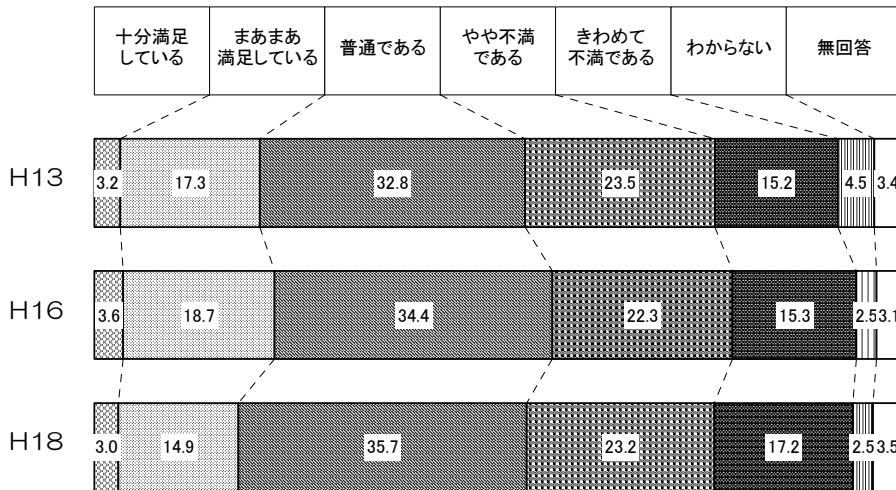
【まちの賑わいや買い物の便】



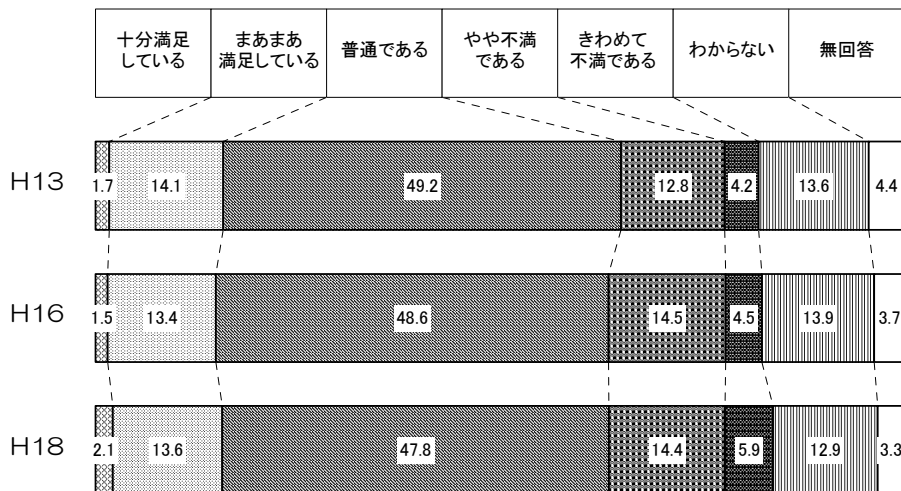
【通勤・通学などの交通の便】



【道路、公園、下水道などの都市施設】



【特色ある祭りや地域ぐるみのイベント】



22) 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

第2項 都市基盤の整備

目的:いつでも安心して水が使えるようにする

指標:(水道水に)満足している人の割合

① 目的

市民は健康に係る水の安全性について関心が高く、水道は生活を支える基本的要素であり、安全な水をいつでも使えるようにしておくことが重要と考えます。

② 指標

水道の質・量・料金は、利用者にとって基本的な要件となっています。これらに満足している人の割合が増えることを目指します。

③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「地域・態度(評価)」

あなたが松戸市で生活する中で、水道水のおいしさ、安さについてどの程度満足していますか。

- | | | |
|------------|--------------|---------|
| 1 十分満足している | 2 まあまあ満足している | 3 普通である |
| 4 やや不満である | 5 きわめて不満である | 6 わからない |

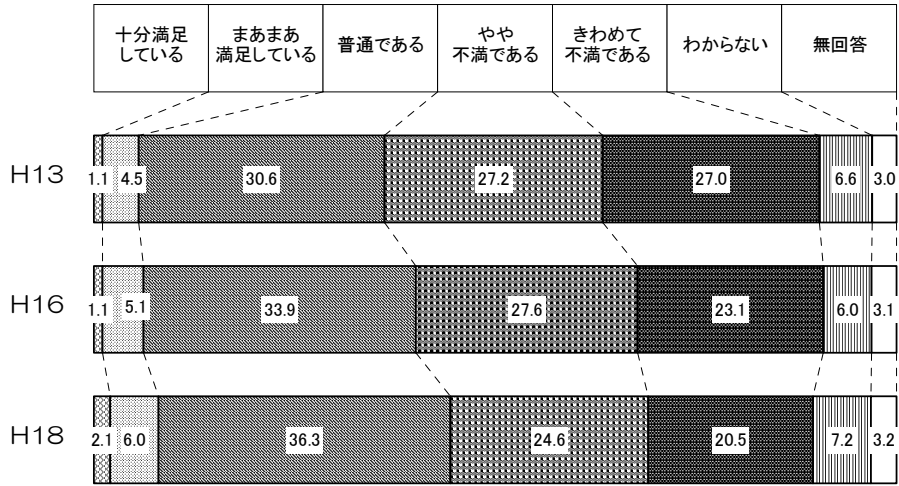
④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
十分満足している	1. 1%	1. 1%	2. 1%	
まあまあ満足している	4. 5%	5. 1%	6. 0%	
計	5. 6%	6. 2%	8. 1%	

⑤ 指標の分析

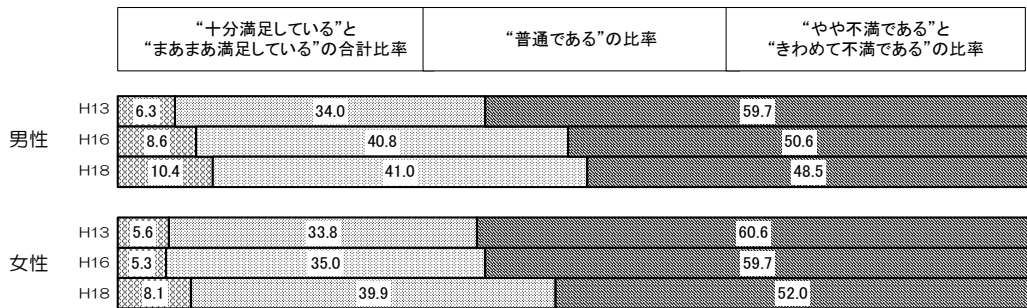
◆ 水道水に満足する人は僅かに増加、全体では不満を感じる人が多い

水道水に対し満足している人の割合は、前回に比べ僅かに向上している。全体では不満との回答が多いものの、今回は“やや不満である”、“きわめて不満である”が減少しているのが注目される。



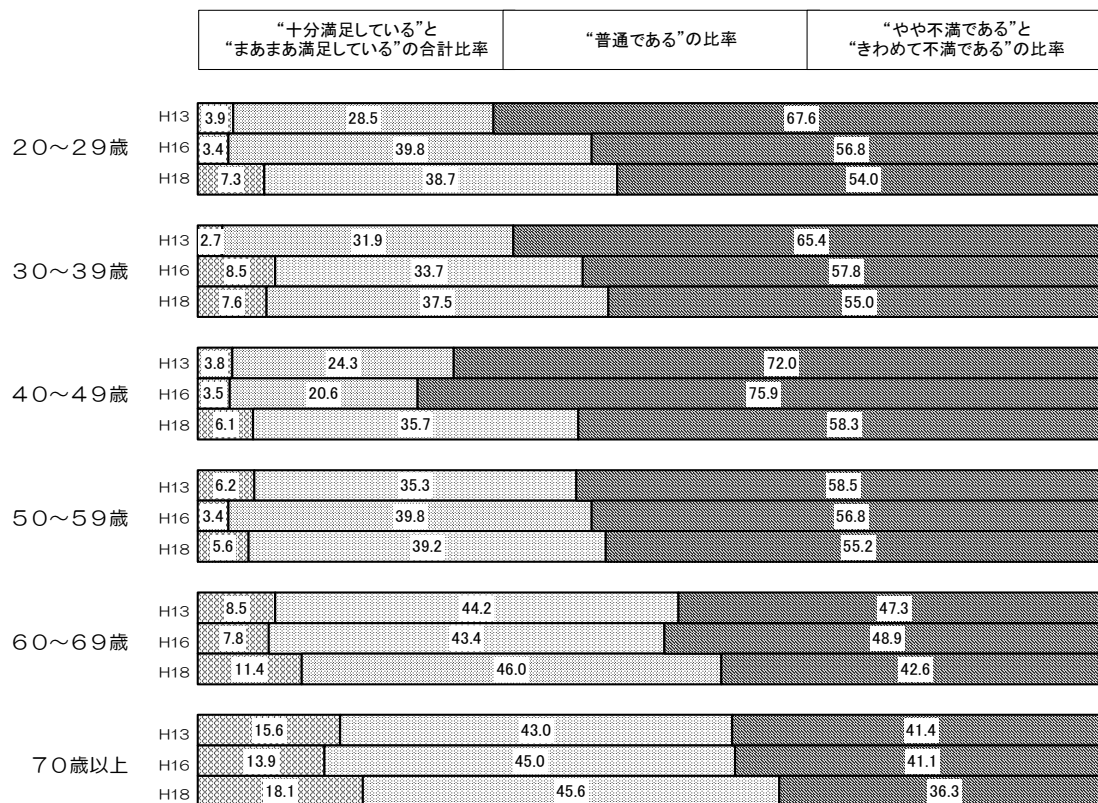
性別で見ると、男女の差はほとんどない。

【性別水道水】



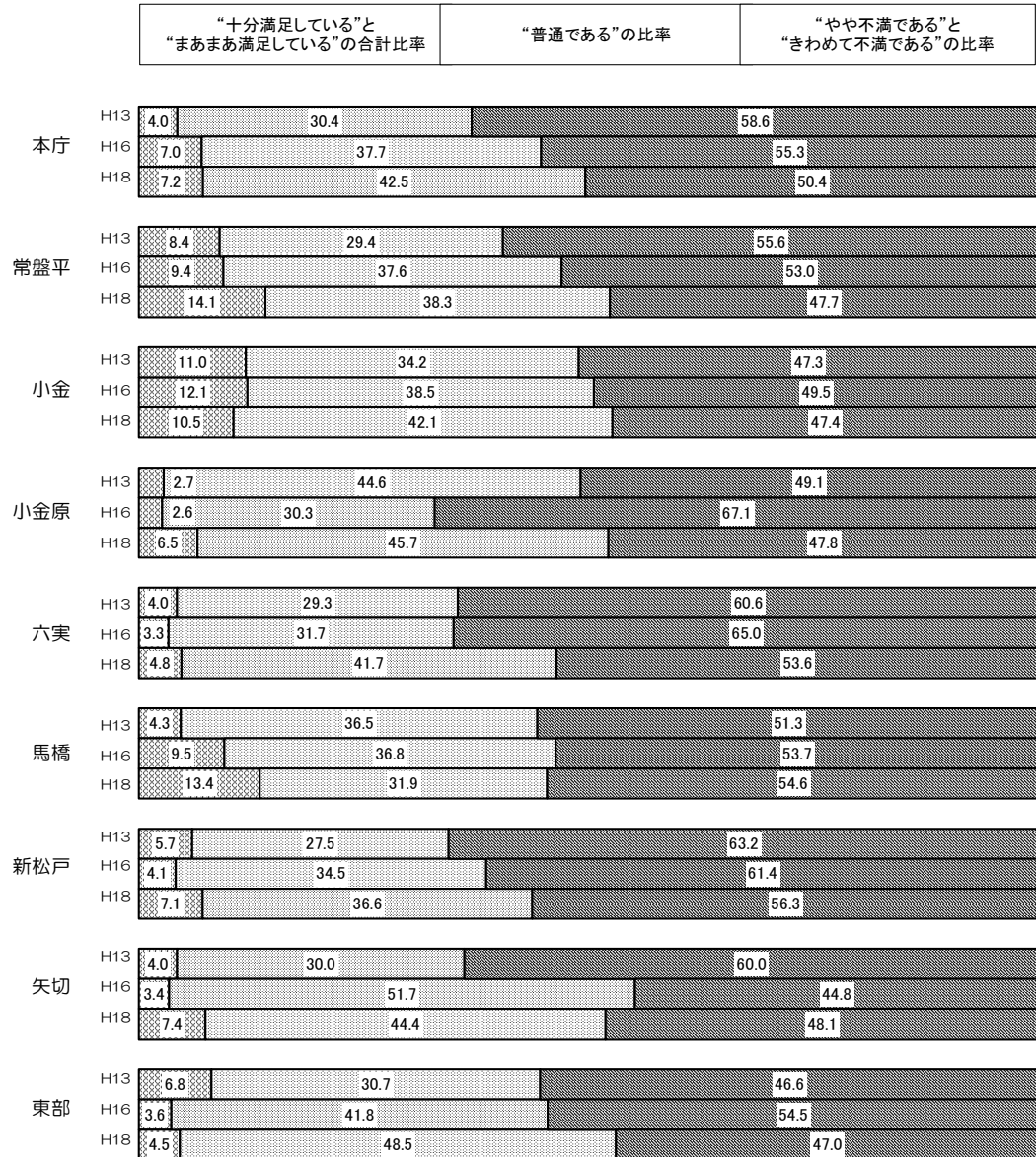
年齢別でみると、おおむね年齢が上がるにつれ満足度が高まる傾向にある。

【年齢別水道水】



地区別にみると、“十分満足している”と“まあまあ満足している”を合わせた満足度が 10%を超えるのは、常盤平、馬橋、小金である。一方、“やや不満である”と“きわめて不満である”を合わせた不満度が 50%を超えるのは新松戸、馬橋、六実、本庁である。

【地区別水道水】



23) 第6節 都市経営の視点に立った行財政運営

第5項 庁舎および庁舎機能の整備充実

目的:市役所・支所の利便性を向上させる

指標:市役所・支所を不便と感じている人の割合

① 目的

市役所や支所は市民サービスの基点であり、その利便性を向上させることが市民サービスの向上に直接影響を与えると考えられます。

② 指標

市役所や支所といった市民に身近な施設のハード面における利便性や不便性を調査することで、庁舎機能のうち今後整備すべき優先順位を検証できると思われれます。また、市役所や支所といった公的な場所が全てバリアフリーになっていることは市民の役にたつ人のいる場所としては大事なことと思われれます。

③ 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・意向」

あなたは市役所への問合せや、窓口の手続、サービスの利用などの際、市役所や支所などが身近で便利だと感じていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 大変便利だと感じている | 2 かなり便利だと感じている |
| 3 ある程度便利だと感じている | 4 あまり便利だと感じていない |
| 5 ほとんど便利だと感じていない | |

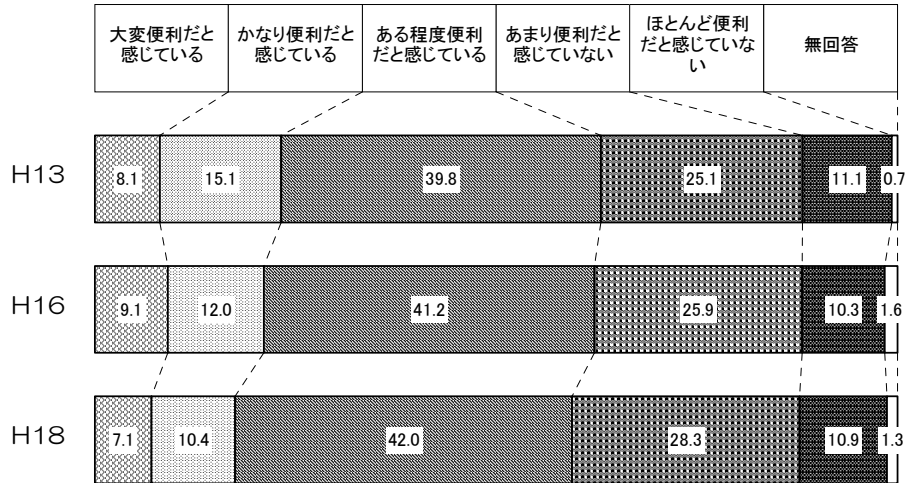
④ 指標の現状(値)

カテゴリー	H13年度	H16年度	H18年度	H19年度(目標値)
あまり便利だと感じていない	25.1%	25.9%	28.3%	
ほとんど便利だと感じていない	11.1%	10.3%	10.9%	
計	36.2%	36.2%	39.2%	32.0%

⑤ 指標の分析

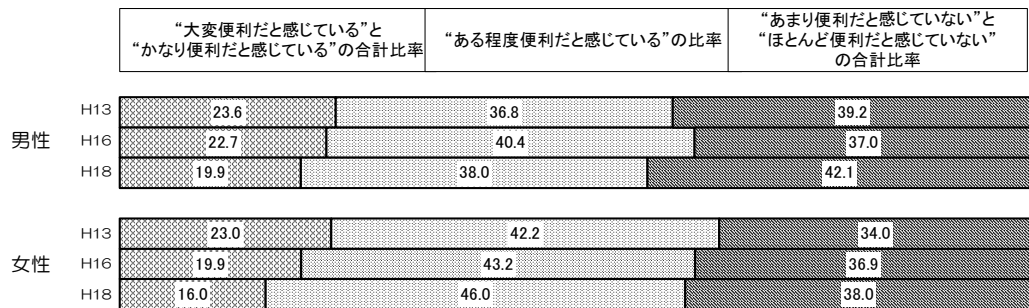
◆ 市役所・支所の利便性については不便であるとする人が増加

市役所・支所を便利だと感じていない人の割合は、前回から増加しており、平成19年度目標値には7.2ポイントの開きがある。“ある程度便利”を含めれば、全体では何らかの利便性を感じている人の割合が高く、今後より高めていく方向性が求められる。一方で、市役所・役所を利用する頻度等によっても評価が左右される部分もあり、めったに利用することのない人にとっては、そもそも便利・不便を実感するに至っていない場合も考えられる。



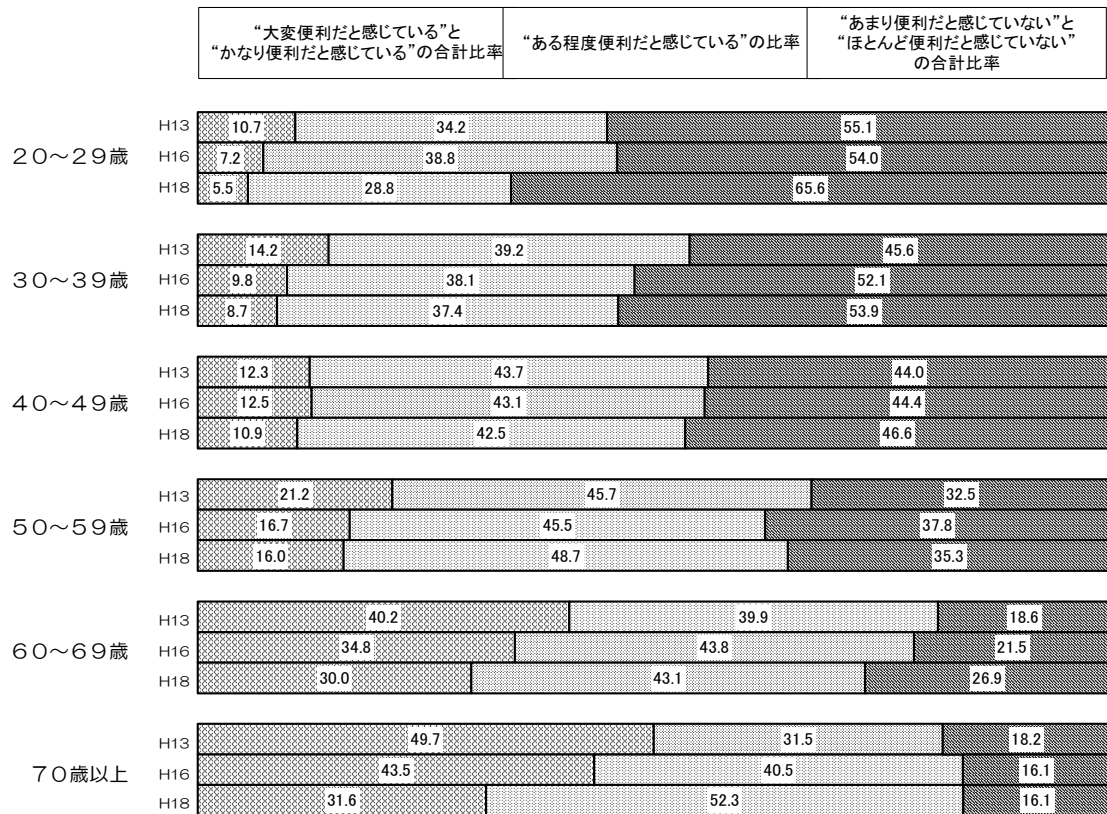
性別でみると、男女による大きな違いはみられない。

【性別市役所の利便性】



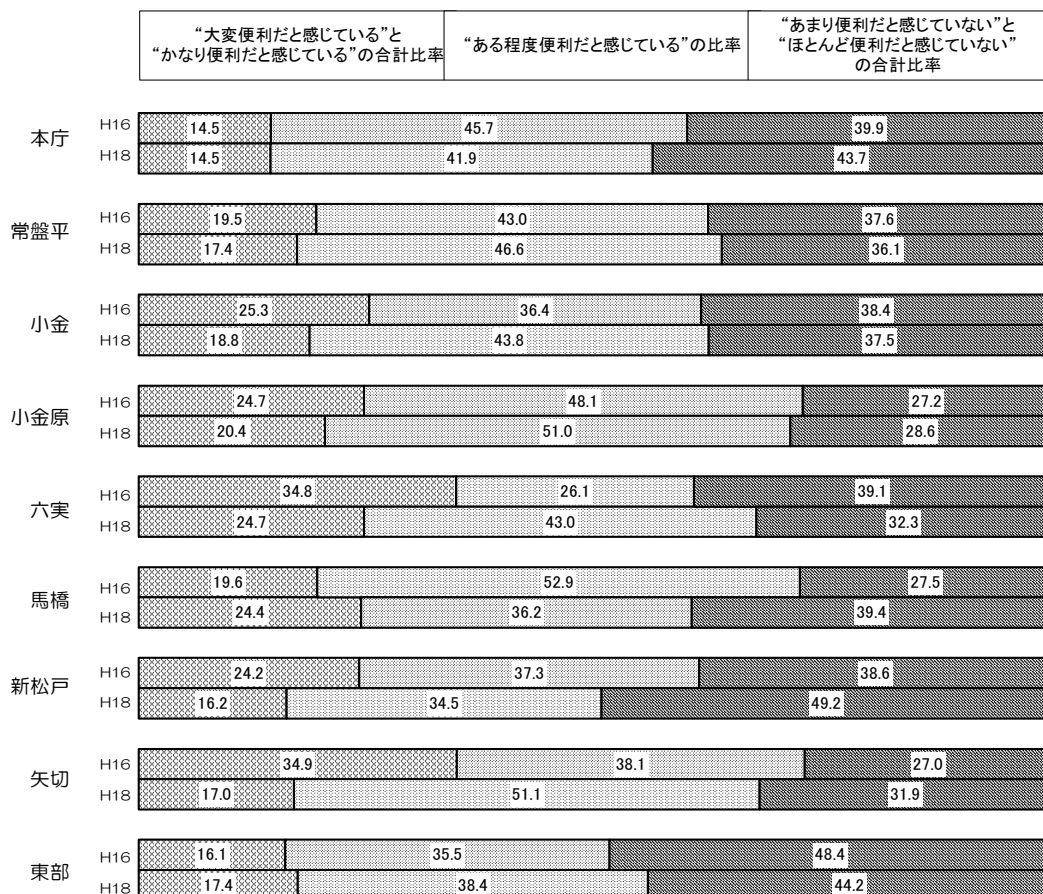
年齢別にみると、年齢層が上がるにつれて便利だと思う人が増加し、不便だと思う人が減少する傾向が、前回と同様みられるが、以前と比べて“大変便利だと感じている”と“かなり便利だと感じている”を合わせた満足度は年々減少している。“あまり便利だと感じていない”と“ほとんど便利だと感じていない”を合わせた不満度は若年層や中年層で増加傾向にある。

【年齢別市役所の利便性】



地区別でみると、“大変便利だと感じている”と“かなり便利だと感じている”を合わせた満足度が 20%を超えるのは、六実、馬橋、小金原となっている。“あまり便利だと感じていない”と“ほとんど便利だと感じていない”を合わせた不満度が 40%を超えるのは、新松戸、東部、本庁となっている。

【地区別市役所の利便性】



行政サービスとの関係を見ると、行政サービスに満足している人は、市役所・支所の利便性にも満足する傾向がみられ、行政サービスに対する満足度と、市役所の利便性は、前回と同様、比例するものであることがわかる。

【行政サービスの満足度別市役所の利便性】

